



提案の概要

◆ 守り (安心して暮らせるまち)

[課題]

- ◆ 無床診療所化
 - ・町内で入院できない
 - ・高度医療が受けられない

- ◇ 地域包括ケアの推進
- ◇ 在宅医療の拠点づくり
- ◇ 看取りのできる環境づくり
- ◇ 予防と健康づくり

◆ 除雪対策

- ◇ まちをコンパクトにして除雪範囲を減らす

◆ 買い物・交通

- ◇ 市街地への施設の集約
- ◇ 高齢者の市街地への住み替え
- ◇ デマンドタクシーの運行
- ◇ 配達サービスと見守り

コンパクトな集住型のまちづくりを推進 (歩いて暮らせるまちづくり)

住民参加 × デザイン

- ◇ 参加なくして未来なし
- ◇ デザインなくして若者の移住なし

◆ 攻め (農業分野)

[課題]

◆ 1次産業

- ・農家世帯の約4割が後継者なし
- ・将来、多くの農家世帯で介護が必要

- ◇ 親が近くで安全・安心して暮らし介護ではなく農業に従事できる環境
- ◇ 新規就農者の確保

→若者に魅力あるリノベが必要(玉つき)

◆ 2次産業

- ◇ 加工工場を増やす
- ◇ 就労の場づくり

◆ 3次産業

- ◇ 計画地の商業エリアで商品化・販売

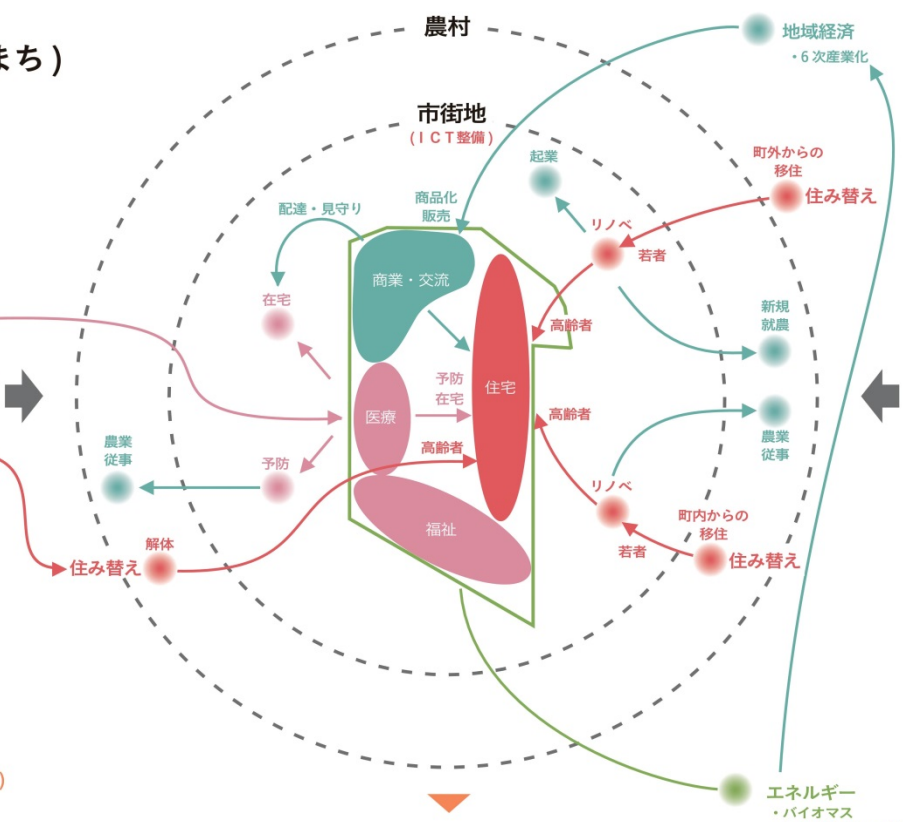
6次産業化

◆ エネルギー (調査中)

- ◇ 森林資源を生かしたバイオマス
- ◇ もみからベレットの開発
- ◇ 雪冷房で温度と湿度を保ち農作物を保存

→町外への支出を減らし町内で循環 (人件費にあてる)

これらをつなぐことでまち全体で地域経済を循環



【方針① 歩いて暮らせるまちづくり】

- 歩いて暮らせる距離に生活に必要な施設、サービス、アイデアが集約された集住型のまちづくり
- 歩くことが楽しく、健康づくりに取り組むことができるまちづくり

【方針② 安心な医療福祉体制】

- 医療・介護・福祉の施設整備と他医療機関との連携の充実
- 医療福祉施設を集約させ、効率的なサービスの提供
- 地域包括ケアにより、ケアの場を施設から住まいへの移行

【方針③ 中心市街地の活性化】

- 地域で経営する共同店舗等のまちのにぎわいをつくる店舗の出店
- 地域の課題を解決するコミュニティビジネスによる市街地の活性化
- 空き家を利用した新規起業者の誘致・市街地への集住の促進

【方針④ 自然エネルギーの活用】

- 豪雪地帯の気候を生かした雪氷エネルギーの活用
- 年間を通して一定量が得られる太陽エネルギーの活用
- 森林が多い地域の特質を生かしたバイオマスエネルギーの活用